

福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 1 月 17 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (1/17 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレ系:約2.0 m ³ /h	19.5	106.9 kPa abs	A系: 0.14 vol %
		給水系:約2.5 m ³ /h			B系: 0.13 vol %
2号機	淡水 注入中	炉心スプレ系:約3.5 m ³ /h	33.6	6.10 kPa g	A系: 0.04 vol %
		給水系:約1.9 m ³ /h			B系: 0.04 vol %
3号機	淡水 注入中	炉心スプレ系:約3.4 m ³ /h	33.7	0.25 kPa g	A系: 0.19 vol %
		給水系:約1.8 m ³ /h			B系: 0.17 vol %

* 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (1/17 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	10.0
2号機	循環冷却システム	運転中	11.5
3号機	循環冷却システム	運転中	9.1
4号機	循環冷却システム	運転中	20

* 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
6号機	6号機 タービン建屋	仮設タンク	1/17 10:00 ~ 1/17 15:00 移送実施

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (1/17 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	停止中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

* フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8 ~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

・H25/1/15 9:00 第二セシウム吸着装置(サリー)のフィルタ洗浄のため、同装置を停止。今後配管部等の健全性確認を目的とした検査(非破壊検査)を実施するため、1/23 まで停止予定。

< 5 . その他 >

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- ・H25/1/8～ 4号機燃料取り出し用カバーのクレーン支持用架構および燃料取扱機支持用架構の鉄骨建方を開始。
- ・H25/1/16 当社社員が6号機補助海水系*の原子炉補機冷却系熱交換器(B)出口配管のサンプリング配管閉止作業を行っていたところ、13:38頃にサンプリング配管の補助海水系母管接続部付近から海水が漏えい。その後、漏えい箇所がサンプリング配管フランジ部であることを確認。床へ漏えいした海水は約 240 リットル。15:33 に漏えい箇所を隔離したところ、海水漏えいは停止。なお、漏えい箇所の隔離に伴い燃料プール冷却浄化系の冷却機能が停止。燃料プール水温は 19.6 であり、冷却機能停止時のプール水温度上昇率評価値は 0.2 /hで運転上の制限値 65 に対して余裕があり、プール水温度管理上問題ない。また、燃料プール水温が上昇した際には、残留熱除去系による原子炉停止時冷却運転(原子炉冷却)と非常時熱負荷運転(燃料プール冷却)の切り替えで冷却を実施する予定。
* 燃料プール冷却浄化系の冷却に使用。

以上